

栃木県

支援事業に参加した成果

- 圏域内の全精神科病院から「地域の支援があれば退院可能な長期入院者」35名を抽出でき、市町・病院・地域援助事業者が退院支援に取り組むための戦略策定に着手できた。
- 圏域の抱える課題の明確化、問題解決への具体的な検討が実施できた。

支援事業に関する取組

- (研修会の開催) 精神障害者地域移行・地域定着支援関係者研修①7/20参加者94名、②2/21予定
- (広域AD現地支援) 上記研修における講演、助言等、モデル圏域活動への具体的なアドバイス等
- (その他) 相談支援従事者専門コース別研修(地域移行・定着) 参加者16名
研修の企画、運営を行う地域移行ワーキンググループの開催 計5回

モデル圏域における具体的な取組

【県北障害保健福祉圏域】

(協議の場の開催状況)

- ・圏域地域移行支援連絡会：圏域全体の戦略の確認と協議(12/14、参加者51名)【広域AD現地支援】
- ・地区検討会：地域包括ケアシステムの検討(年間事業計画と評価)(5/19、3/7予定、参加者各19名)
- ・情報交換会：個別事例検討(地域移行支援の活用促進、住まいの確保支援)、市町障害福祉計画と基盤整備量の考え方等について(計3回、参加者延81名)

(その他、具体的な取組内容)

- ① 地域移行関係職員研修：病院・施設見学と意見交換による相互理解促進(計2回、参加者延42名)
- ② ピアサポート及び家族支援の視点からの合同研修：地域移行者・家族・地域援助事業者等の交流により当事者の力を引き出す支援のイメージ形成を図る(計2回、参加者延54名)
- ③ 地域援助事業者及び行政の定期的な病院訪問による地域移行支援の活用促進とネットワーク強化

【両毛障害保健福祉圏域】

(協議の場の開催状況)

安足地区精神障害者地域生活支援ネットワーク会議等の開催のほか、1月18日にこれまで地域移行の支給決定がない足利市内の関係者と検討会を開催。行政機関が医療機関と協力し地域移行に取り組む意識の統一を図ると共に、支援対象事例について検討した。【広域AD現地支援】

(その他、具体的な取組内容)

- ・関係機関の意思統一を図る目的で研修会を開催予定(3月)
- ・包括ケアシステムの構築について、医療機関への協力依頼及び市との話し合いを予定

モデル圏域における退院支援の状況

	【県北障害保健福祉圏域】	【両毛障害保健福祉圏域】
(退院支援を実施した者の人数)	18人	2人
(そのうち、退院した者の人数)	1人	0人

平成30年度 取組方針

- 事例から学び、実践を積む(チーム支援で地域援助事業者をバックアップするしくみづくり)
- 市町障害福祉計画、県医療計画と連動させた退院支援(市町単位での目標設定)
- 住まいの確保支援の充実強化(自立支援協議会と居住支援協議会との連携)
- 課題の解決に向けた関係機関の連携強化
- モデル圏域の取組を県全体で共有し、取組強化への検討